

④ 2023.05.12 「COVID-19(新型コロナ)ワクチンと呼ばれている薬剤の実態(パート2)」  
「①DARPA、②CIA と③FACEBOOK との関係性の実態」

- 前回の案内の様に、コロナワクチンと呼ばれている薬剤は、2つの別のメカニズムで、「自己免疫疾患」を惹起される様に(引き起こされる様に)デザインされた事
  - ① 「自己免疫疾患」を引き起こす1つ目のメカニズム: 同ワクチンに含有された「スパイク蛋白の mRNA」によるメカニズム
  - ② 「自己免疫疾患」を引き起こす2つ目のメカニズム: 同ワクチンに含有された「HIV」によるメカニズム

① 「スパイク蛋白 mRNA」に起因する「自己免疫疾患」

- 米軍の中の「闇側」「ロックフェラー達が指揮している側」の機関である **DARPA(ダルパ)**[国防高等研究計画局]は、「メッセンジャーRNA(**mRNA**)の**ワクチン類**」の**開発の元**である事
  - そもそも、「ジョン・D・ロックフェラー」の目的に則って、彼らが計画した「スペイン風邪のパンデミック」の時に接種させたワクチン以来の全ての「ワクチン」と呼ばれている「薬剤」の何れも、全く無益で有害なバイオ兵器である事
  - そして、人間の DNA を改変して健康を破壊する為にデザインされた「mRNA のワクチン類」は、今までのワクチン類よりも、はるかに有害なバイオ兵器である事
  - 今回の COVID-19(新型コロナウイルス)のワクチンは、人類に接種させる初めての「mRNA のワクチン」である事
- 今回の「コロナワクチン」に含有された「mRNA」は、「**スパイク蛋白の mRNA**」である事  
このスパイク蛋白は、COVID-19 という新型コロナウイルスの出っ張っているスパイク蛋白ではなく、研究所で、コロナ系の SARS のスパイク蛋白に対して多くの「遺伝子組替」をする事によって、作り上げた「**新世代のバイオ兵器**」である事
  - この人工的に作り上げた「スパイク蛋白の mRNA」の中には、約 30 種類の人間の体を構成する蛋白(心臓、肺、脳神経、胎盤、精子等)を組み込んだ事 [その極悪非道な理由は後程]
  - そして、人間の体内の多くの細胞の中で、この有害なスパイク蛋白が産生される為に、この「スパイク蛋白の mRNA」を「コロナワクチン」に含有させた事
  - 裸の状態ですその「スパイク蛋白の mRNA」が体に入ると、免疫細胞に破壊されるが、ハイドロゲルという「脂質のナノ粒子」からなる保護膜の中に入れて、免疫細胞に攻撃されず、そのハイドロゲルが細胞の中まで容易に入ってから、その「スパイク蛋白の mRNA」が保護膜から出て細胞の DNA を使って、その細胞が死ぬまで、スパイク蛋白を産生し続ける事 [つまり、その「スパイク蛋白の mRNA」は、ハイドロゲルを「トロイ木馬」として使う事によって、細胞の中に入り込んで、その細胞を「スパイク蛋白」の生産工場として使う事]
  - それから、体にとって有害物である「スパイク蛋白」を対応する為の「専用個体」が作られる事
  - しかし、その「専用個体」は、「スパイク蛋白」のみならず、「スパイク蛋白」の中に組み込まれた約 30 種類の人間の体を構成している蛋白も対象にする事 [つまり、その「専用個体」は心臓、肺、脳神経、胎盤、精子等を構成する蛋白をマーキングする事]
  - 従って、その「専用個体」がマーキングする全ての蛋白に対して、免疫細胞が攻撃し始める事 [要するに、自分の免疫系が自分の体を攻撃し始める事により、体中に異常が起こり始める事]
  - 十歳代の接種を受けた方々にも、「心筋炎」が多発している原因は、正しくこの原因による事
  - 胎盤を攻撃する事により、妊婦の大半は流産又は死産を経験している事  
ファイザー社の事前の 270 人の妊婦に対する臨床実験では、270 人の妊婦の内の 1 人だけが正常に生まれたと記録されている事。それ以来、それらの女性の殆どは不妊となる事
  - 同様に、男性の精子を構成する同類の蛋白も免疫細胞に攻撃される事により、男性も不妊となる事
  - そもそも、「ロックフェラー達」という「優生学者達」の「**全世界の人口を 5 億人以下まで減少させる目的**」の実現に当たって、子供を初め「**男女共の不妊化を図っている事**」である事

## ② 「スパイク蛋白の mRNA」に挿入した HIV に起因する「自己免疫疾患」

- 「アンソニー・ファウチ」は、1984 年から、NIH(国立衛生研究所)の管轄内の NIAID(国立アレルギー・感染症研究所)の所長として、実質的に、NIH や全世界においてのウイルス学者を指揮している者である事
  - 人間に害を及ぼす「バイオ兵器(ウイルス等)の開発」、「そのバイオ兵器による計画したパンデミック」等を担っている事で、数々のバイオ兵器(HIV によるエイズ、エボラ、豚インフルエンザ、インフルエン A 型、狂牛病、サーズ、コロナウイルス等)の特許を取得している事
  - ファウチには、「HIV・エイズによる大量虐殺の歴史」を有している事
    - ファウチと WHO(世界保健機構)は、HIV のウイルスを含有した「天然痘ワクチン」によって、アフリカ諸国の 5000 万人の市民を HIV に「感染させた上、AZT という毒薬でエイズを起こす事によって大量虐殺を実行した事
    - ファウチは、別途で、単独で、HIV ウイルスを含有した「肝炎ワクチン」によって、アメリカの男性の同性愛コミュニティの数千人をピンポイント的に感染した上、AZT という免疫系を破壊する毒薬で、多くの方を殺害した事。アメリカの男性同性愛者にさせた理由は、非常にコントロールしやすい人体実験ができるからである事。1984 年に録画された動画で、ファウチがこの自慢話をしている事。
    - HIV に感染されても、「免疫系を破壊する毒薬」である「彼らの治療」(AZT 等)を受けない限り、エイズは発症しない事。
    - このファウチによる「大量虐殺の実績」がある為にも、「今回の COVID-19(新型コロナウイルス)の計画したパンデミックによる大量虐殺」の主役である「ビル・ゲイツ」の現場監督として、ロックフェラー達にファウチが指定された事
  - ドナルド・J・トランプの大統領就任式の 10 日前の 2017 年 01 月 20 日に録画された動画では、ファウチは、次の事を宣言した事
    - 「次の政権にとって、感染症という問題による挑戦を直面する事は、間違いはありません。間違いなく、... 感染症の突然の発生は起こります。」  
[要するに、トランプ大統領は、間違いなく、「我々が計画している COVID-19(新型コロナウイルス)のパンデミックを直面する事」と彼は意味している事]
  - ファウチは、「コロナ作戦」の一環として、「PCR 検査による擬陽性」に対して、アメリカの大型病院で、唯一彼が許可している(義務付けている)治療は、キングコブラの毒素からなる「レムデシビル」だけで、その投与に基づいた治療のプロトコルで、約 10 日間で人間を死なせている事
    - 彼の大型病院に対する「COVID の死亡者作りの報奨制度」で、1 件の殺人で、約 10 万ドル(13 百万円)を稼ぐ制度である事  
[同制度で、病院は、「偽の COVID 症例数作り」だけでも、大金を稼ぐ事ができる事]
- ノーベル賞受賞者であるウイルス学者「リ्यूク・モンタニエ博士」は、暗殺される直前に、次の発言をした事
  - 「3 回目の(コロナワクチンの)投与を受けた人は、エイズの検査を受けて見てください。結果は驚くかもしれません。そして、政府を訴えてください。  
[その意味は、同ワクチンに含有された「スパイク蛋白の mRNA」に HIV を挿入された為、同ワクチンの接種で HIV を感染させられている事]
- 2022 年 3 月 27 日に録画された動画で、「リチャード・M・フレミング博士」は、「リ्यूク・モンタニエ」の「コロナワクチンのスパイク蛋白に挿入された HIV」に関する調査と纏めを案内している事
  - 「スパイク蛋白の mRNA」に HIV の 18 配列(断片)を挿入された箇所の図面
  - 「スパイク蛋白の mRNA」に「人間の細胞に対する感染」を可能とする「フリン・プロテアーゼ」(「PRRA」)の挿入された箇所の図面、及び同挿入技術に関するファウチの NIH が取得した特許

- これらのコロナ系のバイオ兵器の開発に絡んでいる主な「人道犯罪者達」と彼らの関係性： DARPA(ダルパ)、「NIH のファウチ」、非営利団体である「エコヘルス」の「ピーター・ダスザック」、「ノース・カロライナ大学」の「ラルフ・バリック」と「武漢ウイルス学研究所」の「シー・ジェンリ」  
[これらのコロナ系のバイオ兵器の殆どは、「バリック」による基礎研究開発に基づいた物である事]
- 2013.10.02 のプレスリリースで、DARPA がモデル社に「mRNA 治療薬」(新型コロナウイルスのワクチンと呼ばれている薬剤)の開発の為に、2500 万ドルの助成金を提供した事実  
[前述の様に、DARPA は、「mRNA 技術」の開発の元である事で、モデルナ社、ファイザー等のワクチン会社とその「mRNA 技術」をワクチンに含有し、接種を受けた人の細胞に届ける為に、DARPA がそれぞれの会社に助成金を提供している事]
- 2023 年 3 月 23 日に録画されたアメリカの下院の小委員会で、ワクチン会社であるモデルナ社のバンセル CEO のダブルの証言が求められた事 [本物の人物は 2022 年 11 月 16 日に処刑された事]
  - 同小委員会の目的は、次の事を開示する為である事
    - 「ファウチの NIH」が「機能獲得型の研究」を実施している事
    - その「機能獲得型の研究」を実施して貰う為に「ノース・カロライナ大学」や「武漢ウイルス学研究所」等の機関と科学者に資金を提供している事
    - 今回のコロナウイルスとそのワクチンに関しても、「機能獲得型の研究」を行っている事
  - 「光同盟」は、この事に関して、既に、全ての絶対証拠を持っていて、大物の多くの処刑まで進んでいるが、この様に、議会でわざわざ小委員会を実施している主な理由は、この事実を全く想像していない「眠っている一般市民を優しく覚めさせる為」である事
    - 「ロックフェラー達」のマスコミは、この小委員会でやっている事を殆ど報道していない為、一般市民がテレビで見えていなく、意味が殆どないと思われがちであるが、...
    - ... インターネット上の個人記者を中心とした専用チャンネルで見える事が可能で、最近次第により多くの市民がマスコミを全く信用しておらずに、これらのインターネット・チャンネルを見る様になっている事。そして、真実を報道している個人記者が次第に増えながら、見る市民が急激に増えつつある事
    - CNN のゴールデンタイムの視聴者は、数十万人しかいない事に対して、数千万人の視聴者が見ている個人記者達が増えつつある事  
[記者より、真実を開示したり、提供したりしている方々]
    - この方々は、この小委員会に関する重要点を案内している為、何千万人が見えている事。そして、それを見る何千万人の内の市民が更に SNS や電子メールであげたり、伝達したりする事によって、次第に「こういう事実を全く知らない個人」が初めて見る事になり、次第により多くの市民が覚めつつある事。 [この 6 年間、これらの真実を開示したり、提供したりする個人記者を合わせての視聴者は、数十万人から数億人以上まで急激に伸びている事]
    - この様に、一般の方々による活動を次第に促進させる為に、「光同盟」がこういう小委員会等をわざとやっている事  
[要するに、「光同盟」は、世界中の各一人が幸せになる新しい時代への切替に向かって、世界中の市民と一緒に運ぼうとしている事]
  - 同小委員会で、「ランド・ポール議員」は、モデルナ社のバンセル CEO のダブルに対して、次の質問をした事
    - 「バンセル氏、モデルナ社は、最近 NIH(国立衛生研究所)に 4 億ドルを支払いました。新型コロナワクチンで儲けている政府職員が、ワクチンの接種回数の方針を決める事は、利益相反になると思いませんか。」  
[要するに、ここで、ポール議員は、モデルナ社が NIH のファウチ達に大量のお金を払い続

けている事で、ファウチ達は、[自分達が全く打たずに]市民がモデルナ社やファイザー社のワクチンを数カ月毎に、永遠に打ち続ける方針を決める事ができる事が大きな問題であると意味している処]

それに対して、バンセルのダブルは次の様に答えた事

- 「実に、昨年(2022年)のクリスマス前に、NIHが所有している特許の利用の為に、私達は、NIHに4億ドルの支払を行いました。その特許はCOVID(新型コロナウイルス)と関係ないが、COVID(新型コロナウイルス)のワクチンの開発に役立つものでした。  
[これは、真実をよける為に事前に準備した答えである事]
  - その後も、バンセルのダブルは逃げ回り続けた一方であった事
  - 昔から、「ロックフェラー達」の正義を果たさない徹底的に腐敗している「司法制度」で、今まで、この悪人達が思う様に、罰則をされる恐れなく、偽証罪を含め重犯罪でもやって来られた事
  - しかし、この3年間、私が案内させて頂いている多数の国際軍事裁判の様に、この悪人達の大物から次第に中間の者の肅清が進んでいる事
- 2023年4月18日に録画されたインタビューで、「ロバート・ヤング博士」は、COVID(新型コロナウイルス)のワクチンに含有された「酸化グラフェン」に関して述べた事の一部は次の通りである事
- 「コロナワクチンには、酸化グラフェンを濃度高く含有させているのです。」
  - 「酸化グラフェンは、3G、4G、5Gで活性化されるのです。特に、205GH(ギガヘルツ)での4Gのマイクロ波の放射を浴びると、「自己組織化」を開始するのです。」
  - 「ワクチン経由で、酸化グラフェンを接種すると、その酸化グラフェンが受信機として機能し、受信と発信できる様になります。  
酸化グラフェンは、貴方の脳とインターネットを接続する材料です。  
酸化グラフェンを介して、[自分の脳神経系が]インターネットに接続されるとIPアドレスが与えられ、彼らは、追跡、制御、プログラミング、ゾンビ化や即殺害など、好きな様にできる様になります。」
  - 「彼らは、5G塔からの41.3GH(ギガヘルツ)の脈動周波数を放射させる事によって、即殺害ができます。また、60GH(ギガヘルツ)の脈動周波数の放射により、窒息させる事が出来ます。」  
[2年前に、私が説明した様に、60GHを吸収する酸素の電子の軌道が変わる事により、ヘモグロビンがその酸素と結合できなくなる事]  
[要するに、肺が酸素を取り込む事が出来なくなる為、窒息する事]
- 2017年に録画された **DARPAの工作人員の生徒に対する抗議**で、①実在のウイルスなしでもどれ程簡単にDARPAがパンデミックを作り上げる事ができるかとの案内、及び②「ナノ・テクノロジー」(ナノ技術)による人間に対するバイオ兵器等の兵器の案内を実施された事
- 講義の案内の前に、第二次世界大戦の直後にナチスドイツ軍の最高位の「国家元帥ヘルマン・ゲーリング」の発言：「**市民を奴隷化するには、恐怖を持たせるだけです。簡単です。**」
  - ここで、DARPAの工作人員は、**実在のウイルスなしで、心理だけで、パンデミックを簡単に作り上げるコツ**を教える事
    - [ロックフェラー達は、架空のウイルスで、「スペイン風邪のパンデミック」を作り上げた事]
    - [ロックフェラー達は、架空のウイルスで、「コロナウイルスのパンデミック」を作り上げた事]
    - [ジャック・アタリが彼の本の中で「本物であってもでなくてもウイルスによるパンデミックを使います」と書いた様に、パンデミックを作り上げるには、実在のウイルスは不要である事]
    - [同様に、「モンタギュー・ウィリウム三世」が「存在していない病気の為のワクチン」と発言した様に、パンデミックを作り上げるには、実在のウイルスは不要である事]

- その後、DARPA の職員は、人間に対する次の技術を案内する事
  - 「人間の遺伝子から脳の神経系状態までの情報の読取技術」
  - 「人間に害を及ぼす為の介入性技術:サイバー運動型の神経認知捜査、指向性エネルギー措置、新型薬剤、植え込み型のブレイン・マシン・インターフェース、神経性の微生物毒素、有機系の神経毒、ナノロボット等」
- 「ロックフェラー達」の 3 つの機関である(1)DARPA、(2)CIA と(3)FACEBOOK のそれぞれの組織とその 3 つの関係性の概要の案内
  - (1) **DARPA**(ダルパ):人間に対するあらゆるバイオ兵器、化学兵器、ミサイル等の物理的な兵器等の兵器や人間を統制できる為の製品と技術の開発で、その開発に当たって、多くの機関、研究所、企業等の組織からなる一つの巨大ネットワークを動かしている機関である事従って、DARPA は、「人間の統制」や「人口減少」等の為の機関・企業等の組織の設立、資金提供と間接的な運営を行っている機関でもある事
    - 例えば、「武漢ウイルス学研究所」、ウクライナにあった 50 以上のバイオ兵器研究所と核兵器の製造所、台湾の(地上と地下深層の基地内の)数十のバイオ兵器研究所、及びその他の全世界におけるバイオ兵器の研究所・製造所の多くは DARPA による物である事 [これらのバイオ兵器の開発と応用に多くの製薬会社が絡んでいる事]
    - もう一例は、グーグル、フェイスブックやユーチューブなどの殆どの主要なインターネット・プラットフォームの設立と間接的な運営もしている事
  - (2) **CIA**(シー・アイ・エー):1 年間半前の案内の様に、ナチスドイツの職員であった「ジョージ・H・W・ブッシュ」(本名:ジョージ・シェルフ・ジュニア)と「アドルフ・ヒトラー」のいとこであったジョージの父親「プレスコット・ブッシュ」(本名:ジョージ・シェルフ・シニア)及びその他のナチスとアメリカの諜報機関達が 1947 年に CIA を設立した事  
CIA は、「ロックフェラー達」のスイスのジュネーブ湖の地下深層の基地にある中央諜報機関である「オクタゴン」の傘下の機関であり、CIA の本当の本部も、同基地内にある事 [厳密に言えば、同基地は、2022 年 12 月に「光同盟」に破壊された事]  
CIA は、「子供を中心とした人身売買」、「麻薬売買」、「武器・兵器売買」、「犯罪組織とテロ組織の大半の設立、資金提供と運営」や多くの「国々の政府の解体と組立」等を担いながら、「人間の統制」に当たって、DARPA が開発した多くの技術」とシステムの運営と応用に働いている機関である事。特に「情報源の統制」に当たり、マインド・コントロール技術とシステムの徹底した応用に勤めている事
    - 11 月の会議の案内の様に、この CIA と姉妹の諜報機関は、ロシアを除いて、同機関が統制している世界の殆どのマスコミの報道する内容を命令しながら、DARPA が開発した「マインド・コントロール技術」の全てを応用している事
    - アメリカにおいて、「テレビ・プログラミング」という表現は、CIA がテレビ業界を作った時に、テレビ経由の「市民に対するマインド・コントロール・プログラミング」という具体的な目的を示す表現由来である事。そして、未だに、日本で言う「テレビ番組」は、アメリカで「テレビ・プログラム」と言う事 [このプログラミングの主目的は、市民を極めて操りやすい人物にする為である事]
    - 市民がテレビを付けた瞬間に、少なくとも 5 種類のマインド・コントロール・プログラミング技術が常時に機能している事。その事実を全く存じていない市民がテレビを見る程、一切意識せずに、自分達の潜在意識が常にプログラミングされている為、「ロックフェラー達」に簡単に操れる状態になっている事
    - このマインド・コントロール・プログラミング等のマインド・コントロール技術の多くは、DARPA が開発した技術もしくは精錬した技術である事

[或る CIA 長官の発言:「市民が(我々の)メディアが通報する偽情報を完全に信じ込む様になったら、我々の「偽情報作戦」が成功したと確信できる」]

[彼らの「偽情報作戦」は、50 年以上前に成功したと彼らは確信している事]

[このマスコミによる「偽情報作戦」と「ロックフェラーの教育システム」によつての市民に信じ込ませている情報は、実世界からかけ離れている事。この事実が「世界のプログラミングされた眠っている市民」に明らかにされるのは、間もなくである事]

- 同様に、CIA は、「情報源の統制」と「情報調達」の為のシステムの運営も担当している事。グーグル、ユーチューブやフェイスブック等の主要なインターネット・プラットフォームの殆どがこれに当たる事

(3) **FACEBOOK**(フェイスブック):フェイスブックというプラットフォームの開発・構築をしたのは、DARPA(ダルパ)である事。フェイスブックは、市民に対する情報源としての応用は大いにあるが、DARPA がフェイスブックを開発した主目的は、世界中の市民の個人情報把握した上、その後、常にリアルタイムで更新し続ける事ができる為である事。

- DARPA がフェイスブックの開発・構築を完了した時点で、CIA の出番となった事。  
そこで、CIA は「FACEBOOK」という名前を付けて、\$500,000,000 を投資して、表のインターネット上に立ち上げた事。
- そして、「デイビッド・ロックフェラー」の命令で、CIA は、「デイビッド・ロックフェラー」の孫である「マーク・ザッカーバーグ」(本名:ジェイコブ・グリーンバーグ)という CIA の作業員をフェイスブックの CEO に任命した事
- 2022 年 11 月の会議のある動画の様に、CIA の副長官の報告で、CIA の専門家達がびっくりした事は、フェイスブックのメンバー達が簡単に全ての個人情報を開示して貰う事である事。それに、リアルタイムで、どこにいるか、何をしているか、今度の活動計画等の情報を常時に教えて貰っている事である事。  
フェイスブックの立ち上げによつて、個人情報の把握・調達について、その時点までの CIA の全てのシステムを合わせても、フェイスブックという単独なシステムに敵わない事

● 2021 年 12 月の会議の案内の様に、2021 年 10 月 6 日に、フェイスブックが数時間ダウンされた事。[もっと正確に言えば、「光同盟」にダウンさせられた事。]その数時間に、「光同盟」が行なった事がコロナワクチンと呼ばれている薬剤の接種を受けた方々を助ける為であった事

- コロナワクチンを受けている人達の脳の中に、同薬剤に含有されている「酸化グラフェン」からの「脳神経網とのナノ電気ネットワーク」の構成によつて、彼らの脳がインターネットと接続されている事である事
- そして、そう接続される事によつて、「ロックフェラー達」は、人間の脳をコントロールする事が出来ている事。そこで、DARPA(ダルパ)は、思う様に、脳をプログラミングしたり、ゾンビ化したり、即死させたりする事などができる事
- そこで、「DARPA が開発したソフトウェア・プログラムを使う事によつてその注射を受けた方々に対する害を及ぼす事」が出来ない為、「**光同盟側**」の米軍の中の「**宇宙軍**」は、このソフトウェア・プログラムをフェイスブックの全サーバーから削除する事にした事。宇宙軍しかできない事
- 「闇側」自体は、フェイスブックの全てのサーバーからの削除は、不可能であると思ひ込んでいた事 [何故でしょうか]
- この惑星の周りに設置されている数百のフェイスブックのサーバーの殆どからそのプログラムを同時に削除しても、たった一つの未削除のサーバーが残っていれば、そのサーバーから、2 分経たない内に、その削除されたプログラムが他のサーバーに改めて保存される事。  
[つまり、同時に全サーバーからそのプログラムが削除されない限り、2 分間の間に、直ぐに全てが元通りに立ち直る事]

- それが不可能と「闇側」は思い込んでいたが、この数年間「光同盟」が打ち上げた 4000 以上の衛星による「この惑星を囲んでいる衛星網」から、「宇宙軍」は、同時に数時間フェイスブックのシステムの全体を凍結させながら、そのソフトウェア・プログラムを一遍に削除したと同時に、フェイスブックのシステム自体のコントロールを奪い取れた事
- それだけでなく、「宇宙軍」は、「接種を受けた方々」を保護する為に、DARPA のソフトウェア・プログラムが使えない様にした事
- 「**宇宙軍**」は、米軍の中の「**全世界の人類(一人を外す事を知らずの各一人からなる全世界の市民)の幸せ**」の為に選任している「**光同盟側**」の組織である事
  - 一方、「**DARPA**」は、米軍の中の「**全世界の人類の 95%を削除して、残りを奴隷化する事**」の為に集中している「**闇側**」の組織である事
    - これは、「**光**」と「**闇**」との戦いである事
    - **この結末は、「光」が「闇」を永遠に一扫する事**である事
    - この結末が全世界の市民に明らかになってくるのは、「**間もなく**」
- FEMA(アメリカの連邦緊急事態管理庁)の元職員である「セレスト・ソラム」の内部告発の動画(3 分半の日本語字幕付き)で、「ロックフェラー」による PCR 検査、コロナ・ワクチン及びマスクに関する本当の目的を開示している事
- 「**光同盟側**」の「**ダイアナ妃**」、「**ジョン・F・ケネディー・ジュニア**」(JFK ジュニア)は、間もなく表に現れて、「**ドナルド・J・トランプ**」と一緒に大活躍する処
  - 前の様に、2021 年 1 月 20 日に、「ドナルド・J・トランプ大統領」は、150 年ぶりに、「アメリカ合衆共和国」を復活させたと同時に、彼はその日に、同共和国の第 19 代大統領としての就任式を実行した事。そして、別途で、トランプ大統領のいとこである「JFK ジュニア」は同共和国の第 19 代副大統領としての就任式を実行した事。
  - 1997 年の車事故で亡くなったはずの「**ダイアナ妃**」と 1999 年の飛行機の墜落事故で亡くなったはずの「**JFK ジュニア**」は、2009 年の毒殺で亡くなったはずの「**マイケル・ジャクソン**」が同時に表に登場して、一緒に、「**闇側達**」と彼らの「**エリート操り人形達**」の「**子供に対する想像を絶する犯罪**」を全世界に暴露する処である事
    - 「ダイアナ妃」は、エリザベス女王等の貴族達の子供に対する残酷さ、
    - 「JFK ジュニア」は、政治家等の大物の子供達に対する極悪非道な犯罪、
    - 「マイケル・ジャクソン」は、芸能人の子供に対する凶悪犯を全世界の市民に開示する事
  - 2017 年 1 月 20 日に、ドナルド・J・トランプが大統領として就任した途端に、
    - CIA の本部へ行って、CIA 長官に対して、「今から、[子供の人身売買]等の[子供に対する犯罪]を終えさせて貰います」と宣言した事
      - その宣言は、20 万年前から子供を生贖(いけにえ)として「ルシファー」(悪魔)に捧げてきている「ルシファーの崇拜者達」にとっては、致命的なので、その時点から、彼らは、「トランプ大統領」を全面的につぶそうとしていながら、必死に暗殺しようとしている事
    - 同時に、「トランプ大統領」は、「**ネービー・シールズ**」という米海軍の特殊部隊と米海兵隊を中心に、新たな機動部隊を立ち上げた事
      - その機動部隊の任務は、
        - ① 「**全世界の全ての子供の人身売買組織**」の「**撲滅**」と
        - ② 「**全世界の全ての子供の救出**」
      - それ以来、「光同盟」は、「全世界の人身売買組織」の 95%以上を撲滅できたと同時に、2500 万以上の子供達の救出ができています事 **[目標の 100%達成まで、間もなく]**